

2018 Transforming Undergraduate STEM Education in Japan

Held in Hokkaido University

近い将来人工知能とロボット技術の発達により現在の職業の半数が消滅と言われてい
る今、現在の学生には、よりいっそうの創造性が求められています。こうしたことから、多
くの国の大学では、STEM (Science Technology Engineering Mathematics) 教育の改革を行
っています。たとえば工学教育では、知識理解優先のスキル教育から、企画力やデザイン思
考優先の教育へと変換してきています。これは、斬新な販売手法など一見理系に見えないも
のも含めて、多くのイノベーションが、理系の技術革新に支えられているからです。

主要なテーマは以下の通りです。

- STEM 教育コンテンツや手法などの改善事例
- STEM 教育のサポート体制の事例報告や提案
- 包括的 STEM 教育普及のための事例報告や提案
- STEM 教育改善の組織的取組事例
- リベラルアーツ教育としての STEM 教育研究や提案

場所 北海道大学理学部本館 N-308 号室

日時 2017 年 2 月 10 日 (土) 10:00~16:00

発表予定タイトル

- 「アジアのアクティブラーニング」 齊藤 準 (帯広畜産大学)
- 「女子学生の学習経験に関する研究からの STEM 教育への示唆」 保坂雅子 (琉球大学)
- 「AAC&U STEM Education Meeting 2017 の報告」 鈴木久男 (北海道大学)
- 「STEM 教育改革の国際比較」 吉永契一郎 (金沢大学)

■トークやポスターの申し込みも受け付けます。情報共有のつもりで気軽にトーク申
し込みをしていただければと思います。

■2月5日から12日まで札幌雪祭りが開催されておりますので、参加希望者はお早めに航
空券をお求めください。

主催者 鈴木久男 (北海道大学), 吉永契一郎 (金沢大学),
齊藤 準 (帯広畜産大学), 瀬戸 治 (北海道大学)

主催 北海道大学国際理学連携教育センター **共催** 大学教育学会

参加およびトーク、ポスター申し込み | hsuzuki@particle.sci.hokudai.ac.jp (鈴木久男)

会場は北大博物館の3階です。入口から入ってすぐの階段から3階にお進みください。

